

令和 2 年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

基本目標No.	4	基本目標名	人と文化を育むまち						
施策 No.	33	施策名	生涯スポーツ・レクリエーションの振興						
主管課名	生涯学習・スポーツ課								
関係課名									
施策が目指す すべがた	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもから高齢者まで幅広い年代層の市民が多種多様なスポーツに親しんでいます。</li> <li>競技スポーツの感動がまちに活力を与えています。</li> </ul>								
施策の成果向上に向けての 住民と行政との 役割分担や地域等への期待 など	市 民 事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの頃から生涯を通じた楽しいスポーツライフを目指します。</li> <li>子どもから高齢者まで、総合型地域スポーツクラブをみんなで支えます。</li> </ul>							
	行 政	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ施設の整備、人的支援、スポーツクラブの育成を行います。</li> <li>スポーツ事業の開催、支援を行います。</li> </ul>							
	そ の 他 (地 域)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区で各種スポーツ事業を自主的に行います。</li> </ul>							
施策を実行する うえで基本となる 事業	基本事業①	生涯スポーツ・レクリエーションの推進							
	基本事業②	選手・指導者の育成と支援							
	基本事業③								
	基本事業④								
施策の トータルコスト	区 分		単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数		本	10 (10)	10 (10)	12 (12)	12 (12)	12 (12)	6 (6)
	基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	6 (6)	6 (6)	8 (8)	8 (8)	8 (8)	4 (4)
	基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	4 (4)	4 (4)	4 (4)	4 (4)	4 (4)	2 (2)
	基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本						
	基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本						
	B. 事業費（事務事業の事業費合計）		千円	282,706	132,537	137,683	133,586	279,661	259,995
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計		千円	273,707	124,666	128,678	125,390	273,207	257,213
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計		千円	8,999	7,871	9,005	8,196	6,454	2,782
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計		千円						
	基本事業④を構成する事務事業の決算額小計		千円						
	C. 施策に携わる正規職員数合計		人	15	19	24	24	24	16
	D. 事務事業に要する年間総時間		時間	3,100	5,020	5,220	4,970	4,970	5,850
E. 人件費（D×1時間あたりの平均人件費）		千円	12,961	20,637	21,021	19,940	21,639	25,927	
F. トータルコスト（B+E）		千円	295,667	153,174	158,704	153,526	301,300	285,922	
効 率 性 指 標	市民1人あたりにおける施策の G. 事業費（定義式：B/人口）		円	6,551	3,103	3,252	3,171	6,711	6,307
	同 上		円	300	483	496	473	519	629
	H. 人件費（定義式：E/人口）		円	6,852	3,587	3,748	3,644	7,230	6,936
	同 上		円						
	I. トータルコスト（定義式：F/人口）		円						
参 考	1時間あたりの平均人件費		円	4,181	4,111	4,027	4,012	4,354	4,432
	魚津市の人口(各年度12月末時点)		人	43,152	42,706	42,340	42,132	41,672	41,224

基本事業概要シート①

施策 No.	33	施策名	生涯スポーツ・レクリエーションの振興
基本事業名	①生涯スポーツ・レクリエーションの推進		
基本事業の目的(意図)	子どもから高齢者まで幅広い年代層の市民が多種多様なスポーツに親しんでいます。		
令和2年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【スポーツ推進委員事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の影響により活動は制限されてしまいましたが、できる範囲で活動を実施しました。主な活動内容は、執行部会等、各部会合開催、ユニホック審判及び実技講習会、ノルディック出前講座のほか、タグラグビーフェスティバル(タグラグビー交流大会+魚津タグラグビー大会)、ユニホック交流大会を開催しました。</li> </ul> <p>【市民スポーツ奨励事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>うおづスポーツレクリエーション祭は中止、生涯スポーツサポート事業(UO!SPO)は本江地区主催として1回開催しました。</li> </ul> <p>【学校体育施設開放事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民が身近なスポーツ施設として利用できるよう、管理指導員を配置し、小中学校及び旧小学校体育施設を適切な管理をしながら市民へ開放しました。令和3年度からの有料化に向けて、条例等の制定及び利用者への説明を行いました。</li> </ul> <p>【体育施設管理事務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民がいつでも気軽にスポーツやレクリエーションに親しむことができる拠点として、ありそドームや総合体育館、室内温水プールをはじめとする市体育施設を指定管理により管理運営しました(指定管理契約期間:平成28~32年度まで)。また、令和3年度から令和6年度までの4年間のスポーツ施設の指定管理の手続きを行いました(ありそドームと体育施設を一体として指定管理を初実施。)</li> <li>スポーツ施設長寿命化計画を策定し、計画的な施設修繕を実施しました。</li> <li>令和2年度で廃止となる総合体育館の利用団体の調整を行いました。</li> <li>新型コロナウイルス対策のため、施設の改修(網戸の設置)や備品(券売機、プロジェクター、検温器、消毒液噴霧器等)を購入しました。</li> <li>桃山運動公園陸上競技場2種公認の更新手続きを行いました。</li> </ul>		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R02年度 (最終目標年度)
週1回以上スポーツをする市民の割合	%	18.3	31.0	25.9	32.0 29.6	39.0 45.0	46.0 45.2	53.0 49.6	60.0 48.1
総合型地域スポーツクラブ会員数	人	3,322	3,077	3,041	4,100 3,097	4,200 3,098	4,300 2,956	4,400 2,911	4,500 2,744

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和2年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 体育施設管理事務	247,624,300	243,156,587	4,467,713	B	生涯学習・スポーツ課
2	一般会計	○ 東京オリンピック・パラリンピック関連事業	2,357,000	460,695	1,896,305	B	生涯学習・スポーツ課
3	一般会計	室内温水プール建替推進事業	80,000	10,748	69,252	-	生涯学習・スポーツ課
4	一般会計	○ 市民スポーツ推進事業	16,661,000	13,584,972	3,076,028	A	生涯学習・スポーツ課
5							
6							
7							
8							
9						0	
10						0	
11						0	
12						0	
13						0	
14						0	
15						0	
16						0	
17						0	
18						0	
19						0	
20						0	
21						0	
22						0	
23						0	
24						0	
25						0	
26						0	
27						0	
28						0	
29						0	
30						0	
合計			266,722,300	257,213,002	9,509,298		

基本事業概要シート②

施策 No.	33	施策名	生涯スポーツ・レクリエーションの振興
基本事業名	②選手・指導者の育成と支援		
基本事業の目的(意図)	各種スポーツ団体や選手の活動を支援し市民スポーツの活性化を促進します。		
令和2年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【市民体育大会・県民体育大会事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により、市民体育大会は、夏季競技は21種目中6種目のみ実施、冬季競技は、宇奈月スキー場に会場を変更して実施しました。県民体育大会等に出場する選手に対して大会派遣経費の一部補助も大会中止のため実施しませんでした。</li> </ul> <p>【選手強化育成・優秀選手派遣事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月1日(水)パナソニック株スポーツ事業センターと連携協定を締結しました。ラグビークリニック(教室)は中止、バレーボールではリモートクリニックを2回開催(9/20、3/20)するなどして、スポ少や部活動の競技レベルの向上に努めました。</li> <li>・市出身のプロ野球選手である石川歩投手によるNICE-TV杯での上位スポ少3チーム(道下、星の杜、よつば)への訪問を行い、交流を図りました。</li> <li>・ジュニア育成や指導者講習の開催、優秀選手派遣に対する助成を通じて、選手強化に取り組みました。</li> </ul> <p>【中学校部活動活性化事業】(令和2年度より学校教育課(教育総務課)へ移管)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校の運動部に専門的技術を有する外部指導者(スポーツエキスパート)を派遣し、競技力向上を図りました。</li> </ul>		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R02年度 (最終目標年度)
スポーツ少年団加入率	%	40.4	33.0	32.1	38.0 31.8	41.0 31.9	44.0 29.6	47.0 29.3	50.0 26.9
スポーツ大会への参加者数	人	13,546	16,517	18,227	17,000 19,909	17,250 18,739	17,500 17,902	17,750 18,847	18,000 5,146

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和2年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ スポーツ選手等強化育成事業	4,686,000	1,624,036	3,061,964	A	生涯学習・スポーツ課
2	一般会計	○ 市民体育大会等開催支援事業	2,559,700	1,158,064	1,401,636	A	生涯学習・スポーツ課
3					0		
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			7,245,700	2,782,100	4,463,600		

施策 No.	33	施策名	生涯スポーツ・レクリエーションの振興
令和2年度の評価結果(基本事業の成果を考慮し記載)	<b>1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景</b> (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)		
	<b>【①生涯スポーツ・レクリエーションの推進】</b> ◆成人のスポーツ実施率は、近年低下傾向にあると言われており、市民アンケートでは、「週1回以上、運動やスポーツを行っている市民の割合」は、前年度の49.6%から48.1%(1.5ポイント減)となっています。 ◆総合型地域スポーツクラブは、3クラブが活動しており、会員数は前年度の2,911人から2,744人(167人減)となっています。  <b>【②選手・指導者の育成と支援】</b> ◆スポーツ少年団の加入率は、前年度の29.3%から26.9%(2.4ポイント減)となっています。 ◆スポーツ大会への参加者数は、前年度の18,847人から5,146人(13,701人減)となっています。		
	<b>2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括</b> (令和2年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取り組み内容を中心に記述)		
<b>【①生涯スポーツ・レクリエーションの推進】</b> <スポーツ推進委員事業、市民スポーツ奨励事業> ◆総合型地域スポーツクラブをはじめとする各地域の取り組みは、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動の自粛や制限等があり、なかなか思うような取り組みができませんでした。その中でも、スポーツ推進委員を中心に、ユニホック交流大会や本江地区との共催による生涯スポーツサポート事業「UO!SPOin本江」を開催することができました。 <体育施設管理事業、学校体育施設開放事業> ◆桃山運動公園やありそドームをはじめとするスポーツ施設と、夜間開放等を実施している学校及び旧小学校体育施設は、多くの市民がスポーツやレクリエーション等、運動に親しむ拠点となっています。 ◆開放している学校体育施設は、令和3年度からの有料化に向けて条例制定等を行い、利用者等への丁寧な説明を行いました。 <東京オリンピック・パラリンピック事前合宿誘致推進事業> ◆新型コロナウイルス感染症の影響により、東京2020オリ・パラが1年延期となりました。ポッチャ競技の事前合宿登録に向けて国のホストタウン調査事業を活用し誘致活動に努めました。候補相手国の方針で締結(ホストタウン登録)には至りませんでした。 ◆日本ポッチャ選手権大会の本市開催を予定していましたが中止となりました。本市のポッチャサポーターの増加を図るため、日本ポッチャ協会主催によるポッチャキャラバンを開催しました。児童への体験会や地域住民への普及活動を実施し、競技のPRや普及に努めました。ポッチャ競技の市内在住選手の日本代表推薦内定発表があり、所属企業と共に活動支援(練習会場の使用料の一部補助)を実施しました。 <室内温水プール建替推進事業> ◆温水プールには、PFI導入可能性調査の結果を踏まえて様々なシミュレーション分析や各種団体、民間プール事業者との意見交換を行いながら、小学校プールの集約を前提に建替整備を行うこととし、その整備手法を公設民営方式とすることに決定しました。  <b>【②選手・指導者の育成と支援】</b> <選手強化育成・優秀選手派遣事業(選手強化育成事業)> ◆新型コロナウイルス感染症の影響により大会等が中止になり、大会派遣に対する助成をすることはほぼありませんでした。(冬季スキー大会のみ助成) ◆パナソニック樹スポーツ事業センターとの連携協定締結に伴い、バレーボールVリーグ加盟のパナソニックパンスーアの選手等からリモートで指導を受けるクリニック(教室)を開催しました。また、市出身者であるプロ野球選手の石川歩投手による交流会など、トップアスリートの出演を通じて、子どもたちの競技力向上及び指導者育成につなげる貴重な機会をつくりました。			
<b>3. 施策の課題認識及び取り組み状況</b> (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)			
<b>【①生涯スポーツ・レクリエーションの推進】</b> ◆総合型地域スポーツクラブの活動をはじめとする各地域における取り組みは、子どもたちのスポーツ少年団への加入促進や成人のスポーツ実施率の向上に有効であることから、地区体育振興会をはじめ関係団体と連携しながら市民に対して積極的な情報提供等を行います。 ◆「生涯スポーツサポート事業(UO!SPO)」として、市体育協会やスポーツ推進委員、地区体育振興等と連携しながら、各地区において体力測定、ニュースポーツ体験、100歳体操、健康についての講座や料理教室などを一堂に行い、ひとりでも多くの市民に対して簡単な運動をしながら、健康について考えてもらえるイベントを開催していきます。なお、令和2年までには全ての地区で開催できるよう呼びかけていきます。 ◆東京2020オリ・パラの延期により、引き続き、聖火リレーやポッチャ競技をはじめとする、オリ・パラ競技の市ゆかりの選手の応援活動を実施していきます。特に、ポッチャ競技の普及活動やコロナが落ち着き次第、ポッチャを通じての国際交流活動を行っていきます。 ◆温水プールには、令和2年度の検討を踏まえ、室内温水プール整備基本計画を策定し、計画的に整備を進めていきます。 ◆夜間開放施設は、総合体育館が廃止となることで利用者が不便をきたさないよう調整を行い、令和3年度からの有料化に向け、体育館の整備を進めつつ利用促進を図ります。 ◆令和2年4月に策定したスポーツ施設の長寿命化計画は随時見直しを行いながら、計画的で効率的な維持管理に努めます。 ◆体協やスポーツ団体等のみならず、地域や経済、産業、観光など様々な団体等と連携した総合的な組織を形成し、スポーツを通じた地域活性化を図ります。  <b>【②選手・指導者の育成と支援】</b> ◆関係団体と連携を図りながら、小中学生の競技人口の拡大と選手の競技力向上に向けて継続的に取り組みます。 ◆トップアスリート等から直接指導を受けるクリニック(教室)の開催等を行い、子どもたちを中心とする選手の競技力向上や指導者育成の支援を引き続き実施します。			